

すべての農家が 続けられる農政を

農業は国の礎(いしずえ)です
農家経営が成り立ち、農村が大事にされてこそ
安全な食料の自給、農地と環境の保全が保証されます

小規模も、大規模も、続けたい人・やりたい人はすべて

野洲農業の大事な担い手です

「農業はつぶれてもかまわない」と輸入自由化・農家切り捨ての財界・自公農政では日本農業は崩壊します

財界いいなりで、「日本農業はつぶれてもかまわない」と、食料主権も放棄し、完全自由化(関税撤廃)を進めようとしている自民・公明党内閣です。これを一層、推進させるのが「品目横断的経営安定対策」です。

野洲市でも、品目横断対策で、約6割の中小農家(米作面積比)が切り捨てられるとともに、米価と麦価下落により、農家経営が深刻な事態に追いやられています。大規模農家や集落営農でも、「このままでは立ち行かなくなる」「国(自民党)にだまされた」など、強い批判と不安が広がっています。

「多様な担い手と野洲農業を守れ」請願 共産党市議団以外の議員・会派の全員が「バラマキ補助はよくない」と言っており反対

12月野洲市定例市議会には、小規模農家も、大規模農家も、農業を続けたい人、やりたい人は、すべて野洲農業の大事な担い手との思いから、「品目横断的経営安定対策の見直し」と、多様な担い手の育成を求める請願(日本共産党野洲市議団が紹介議員です)が提出されました。

多様な担い手が、野洲市農業と農家経営を守る上で、農家の

みなさんの切実な願いを込めた請願でした。

ところが、豊政会(自民党)、公明党、市民ねっと、ネットワーク野洲の各会派・議員は、輸入自由化や品目横断的経営安定対策容認の立場から、「この請願は、中小農家を農政の対象にするもの。これでは、またもや、バラマキ補助につながる」として、この請願に反対しました。

しかし、この請願は、農業を破壊に導く、自公内閣の財界いなしの食料主権放棄(輸入自由化)や中小農家切り捨て農政の転換を求めたものです。

農業は国の礎。すべての農家の経営が成り立ち、農村が大事にされてこそ、安全な食料自給や農地・環境保全がされるものです。農家と市民の願いを込めた請願だけに、反対した、豊政会を始めとする各会派・議員の責任が問われています。



品目横断的経営安定対策の見直しと多様な担い手の育成を求める請願

不採択にされた請願

参議院選挙では、中小農家を政策の対象から外す品目横断的経営安定対策に対して、農家は「ノー」の意思を表明しました。それにもかかわらず、政府・与党は「説明が足りなかった」などと開き直り、同対策を推進しようとしています。

農村はいま、高齢化、後継者不足が深刻で、耕作放棄地も広がっています。こうした困難の大もとには、輸入農産物の急増による、米価をはじめとする農産物価格の低迷があります。しかし、品目横断対策は、さらなる輸入自由化を前提に、中小農家を切り捨てるもので、困難を解決するどころか、農村の疲弊をさらに加速させるものです。同対策の抜本的な見直しを求めます。

品目横断対策は、原則4ヘクタール以上(北海道10ヘクタール以上)の認定農家が20ヘクタール以上の集落営農組織しか加入できません。今年度の加入申請状況が8月に公表されましたが、昨年産の作付面積と比較したカバー率は小麦93%、大豆77%、米26%で、いずれも100を割っており、とりわけ米は四分の一しかカバーしないという深刻な状況です。

バイオ燃料ブームによる値上がりや安全・安心を求める世論の高まりで、国産の小麦、大豆の需要が強まっている一方で、品目横断対策では自給率の向上は望みません。また、大多数の稲作農家は、現行の稲作所得基盤確保対策(稲得)が廃止されたもて、輸入米や大手流通資本の買いたたきと、丸腰で向き合わなければならないようになります。

日本農業を再生する道は、輸入を規制するとともに主要な農産物の価格保障政策を復活・充実させること、そして、小さい農家やお年寄り、新規就農青年なども支援の対象に加えて、多様な農業の担い手を育成していくことです。

以上の趣旨から、下記の事項について意見書を、政府および関係機関に提出して下さるよう、請願します。

1. 品目横断的経営安定対策を抜本的に見直し、農業をやりたい人、続けたい人をすべて対象にすること。
2. 農産物の輸入を規制し、価格保障政策を復活・充実させること。
3. きめ細かい支援策を講じ、多様な農業の担い手を育成すること。

12月定例市議会に提出された請願の態度	議員名													議長												
	小菅六雄(共)	野並享子(共)	三和郁子(市)	川口東洋(市)	鈴木市朗(市)	西本俊吉(ネ)	本田章紘(ネ)	矢野隆行(公)	梶山幾世(公)	内田聡史(豊)	奥村治男(豊)	藤村洋一(豊)	田中良隆(豊)		藤下茂昭(豊)	中島一雄(豊)	田中孝嗣(豊)	中田幸子(豊)	小島進豊(豊)	原田薫豊(豊)	田中栄郎(豊)	荒川泰宏(豊)	河野司(豊)	秦眞治(豊)	林克	
品目横断的経営安定対策の見直しと、多様な担い手の育成を求める請願(共産党議員団紹介の請願)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日豪をはじめとするEPA路線を転換し、自給率の向上を食料主権にもとづく農政を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米対策及び品目横断的経営安定対策についての請願(近江富士農協から提出された請願)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

共 = 日本共産党市議団、市 = 市民ねっと(無所属)、ネ = ネットワーク野洲(民主・連合系)、公 = 公明党、豊 = 豊政会(自民党)

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2008年1月20日 136

暮らしのご相談・要望
お寄せください

市会議員 小菅六雄 (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184
(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/~kosuga/

市会議員 野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102
(メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/~nonami/